

第76回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

7/1_水 ▶ 7/31_金



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ

第76回“社会を明るくする運動”金沢市推進委員会委員長

金沢市長 村山 卓

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行の防止とともに、罪を犯した人たちの更生について理解を深めることにより、安全・安心な地域社会を築くため、昭和26年(1951年)から始まった国民運動で、本年度で76回目を迎えます。

長年にわたり、この運動の中心となって支えてこられた保護司会の方々をはじめ、更生保護関係者の皆様におかれましては、日頃から、犯罪や非行のない明るい地域社会づくりに、多大なご尽力をいただいておりますことに、改めて深く敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

さて、今年度は、「『保護司』をはじめとする更生保護ボランティアを広く知ってもらおう」を運動の統一テーマとしています。地域社会の中で、犯罪や非行から立ち直ろうとする人を支援する「更生保護」の取組は、「保護司」の方々をはじめとする多くの更生保護ボランティアの方々に支えられています。地域社会や犯罪情勢等が大きく変化する中

で、犯罪や非行のない明るい社会づくりを進めていくためには、更生保護の取組に対する、市民の皆様一人ひとりの理解と協力がより一層必要となります。

本市におきまして、この運動が大きく実を結ぶよう、広報活動をはじめ、内閣総理大臣メッセージ伝達やイエローライトアップ点灯式、標語の募集など、今年度もさまざまな催しを行ってまいります。また、再犯防止専用のポータルサイトにおいて、取組の広報も続けてまいります。

7月の強調月間を契機とし、住民組織、学校、企業、行政機関など関係団体の皆様との協働によって、より多くの市民の皆様に「社会を明るくする運動」の趣旨が理解されること、ひいては、犯罪や非行のない、明るく住みよい社会が1日も早く実現されることを心から願っております。

令和7年度 標語コンクール受賞作品

金沢市長賞	金沢保護観察所長賞	金沢中警察署長賞	金沢東警察署長賞	金沢西警察署長賞
第75回 社会を明るくする運動 標語コンクール受賞作品 笑顔咲く 明るい未来 あなたから 金沢市長賞 不動寺小学校 6年 堀米 真菜	第75回 社会を明るくする運動 標語コンクール受賞作品 思いやり 誰かの心に 光が灯る 金沢保護観察所長賞 伏見台小学校 6年 町口 八重子	第75回 社会を明るくする運動 標語コンクール受賞作品 ただいまと 言える私の 帰り道 金沢中警察署長賞 兼六小学校 6年 嶋 柚花	第75回 社会を明るくする運動 標語コンクール受賞作品 やさしさと 思いやりの 二刀流 金沢東警察署長賞 夕日寺小学校 6年 加藤 優成	第75回 社会を明るくする運動 標語コンクール受賞作品 あいさつは 笑顔の花を 咲かす種 金沢西警察署長賞 西小学校 6年 川西 芽生

今年度も金沢市の小学校で標語を募集しております。

金沢では

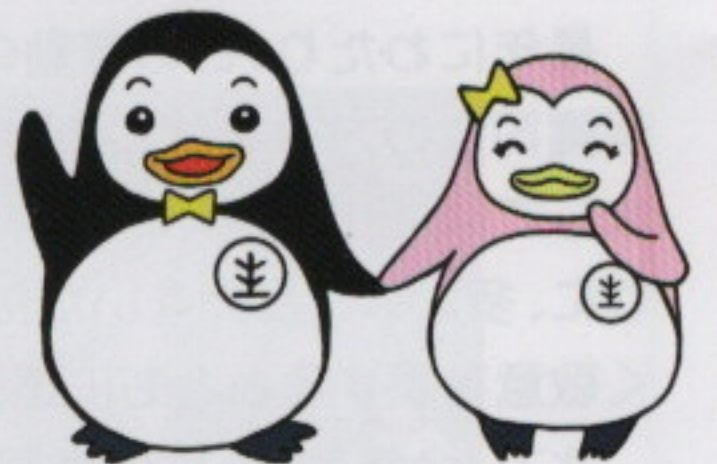
立ち直りを支援す いっしょに

活動を 応援する

立ち直り応援基金は、犯罪や非行をした人の立ち直りに賛同してくださる方々の思いと、更生保護の活動とを結び、新たな被害者も加害者も生まない、安全・安心な地域社会を築くことを目的とした基金です。寄付金は、全国の立ち直り支援活動に大切に使われます。

立ち直れる。その思いをツナグ。

立ち直り応援基金



更生ペンギンの
ホゴちゃんとサラちゃん

更生保護 ボランティアとして 参加する

立ち直りを
一番近くで見守る

保護司

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。地域の事情などをよく理解し、保護観察官と協働して、保護観察を受けている人に面接を通じての助言や指導を行い、受刑者等が社会復帰する環境への働き掛けなども行っています。金沢市には150名の保護司がいます。



保護司のクジラ先生

「就労」と「見守り」の 両方を担う 協力雇用主

犯罪や非行をした人の立ち直りには、働くことが大変重要です。協力雇用主は、犯罪や非行をした人の自立や社会復帰に協力することを目的として、彼らを雇用しようとする事業主です。金沢市には109社の事業者がいます。



協力雇用主のアシカ親方

社会復帰する人の 居場所をつくる

更生保護施設・ 自立準備ホーム

刑務所などを出た後、住む場所がない人たちに宿泊場所や食事を提供し、自立に向けた支援等を行う民間の施設です。金沢市には更生保護施設「親和寮」があり入所者本人の問題に応じた指導により、社会復帰への様々な支援を行っています。また、施設退所後は職員が家庭訪問を行い、健全な生活の維持について助言を行い、再犯防止に努めています。

若い人の視点で 立ち直り支援に参加

BBS会

様々な問題を抱える少年たちと、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年たちの成長を助ける青年ボランティアです。金沢市では北陸学院大学、金沢大学のBBSサークル等の若者55名が参加しています。



親和寮のお誕生会ケーキ作り

地域のことを ほっとけない

更生保護女性会

更生保護女性会は、地域の犯罪予防活動や更生支援を行う女性のボランティアです。非行問題を考えるミニ集会のほか、子育て支援活動など、多様な活動をしています。全国に約12万人います。金沢市は、5地区1078人の会員が校区ごとに親和寮への「おふくろの味」夕食奉仕、土曜食堂の提供、湖南学院への訪問を行っています。また、「愛のかきやま」販売の収益金で刑務所や少年院、更生保護施設に図書等を贈呈しています。



更女の徳風苑夕食奉仕・おふくろの味

ほかにも、農福事業者、自助グループなど、立ち直り支援の担い手は様々です。そして、食育、スポーツ、アウトドアだっていい。立ち直り支援は、多様な支え合いを必要としています。

身近なところにも、
する方法があります
活動しませんか？

理解を深め見守る

自らの過去と向き合い、罪を償って立ち直ろうとしている人たちへの御理解や更生保護ボランティアの方々の活動への御協力を、よろしく願います。



犯罪や過ちから立ち直ろうとする人に寄り添い、地域で支え続けている

「保護司」というボランティアがあります。

大変そう、むずかしそう。そんなイメージを

持たれがちですが、実はさまざまな年齢や経歴の人が、全国で保護司として活動しています。

第76回「社会を明るくする運動」では、

保護司をはじめとする

更生保護ボランティアの存在を知っていただき、

皆さんとともに安全で安心な社会について

考えていきます。

まずは、更生保護ボランティアのことを

知るところから。そして、あなたにもできること、

あなただからこそできる支援へ、

一歩踏み出してみませんか。

7月の強調月間を中心に、全国各地で「社会を明るくする運動」の様々なイベントや広報活動が行われています。お住まいの地域の活動に、ぜひ御参加ください。

イベントに参加する

SNSを フォロー・拡散

法務省保護局のホームページやSNS等で、立ち直り支援に関する様々な発信を行っています。ぜひチェックしてみてください。

第75回 “社会を明るくする運動”関連行事

7/1^火

内閣総理大臣メッセージ伝達式
〔金沢市役所〕



7/1^火

絵本寄贈〔金石町小〕



7/1^火

あいさつ運動〔野田中〕



7/5^土

街頭広報
〔イオンもりの里〕



7/16^水

公開ケース研究会
〔教育プラザ富樫〕



10/4^土

金沢矯正展
〔金沢刑務所〕



社会を明るくする運動のはじまり



社会を明るくする運動
シンボルマーク

戦後間もない昭和24年頃、貧困からくる子供達の非行が、大きな社会問題となっていました。そのとき、東京・銀座商店街の延べ2,000人もの人々が立ち上がり、「不幸な子供達を救ひませう」の立看板を掲げ、真夏の炎天下、犯罪予防と少年保護を訴える「銀座フェア」を開催しました。この市民の活動がきっかけとなって、昭和26年から、法務省主唱の「社会を明るくする運動」が始まりました。

第76回 社会を明るくする運動 金沢市推進委員会事務局

金沢保護区保護司会 金沢市高岡町7-25松ヶ枝福祉館 4階 TEL 076-223-3062 FAX 076-223-3063